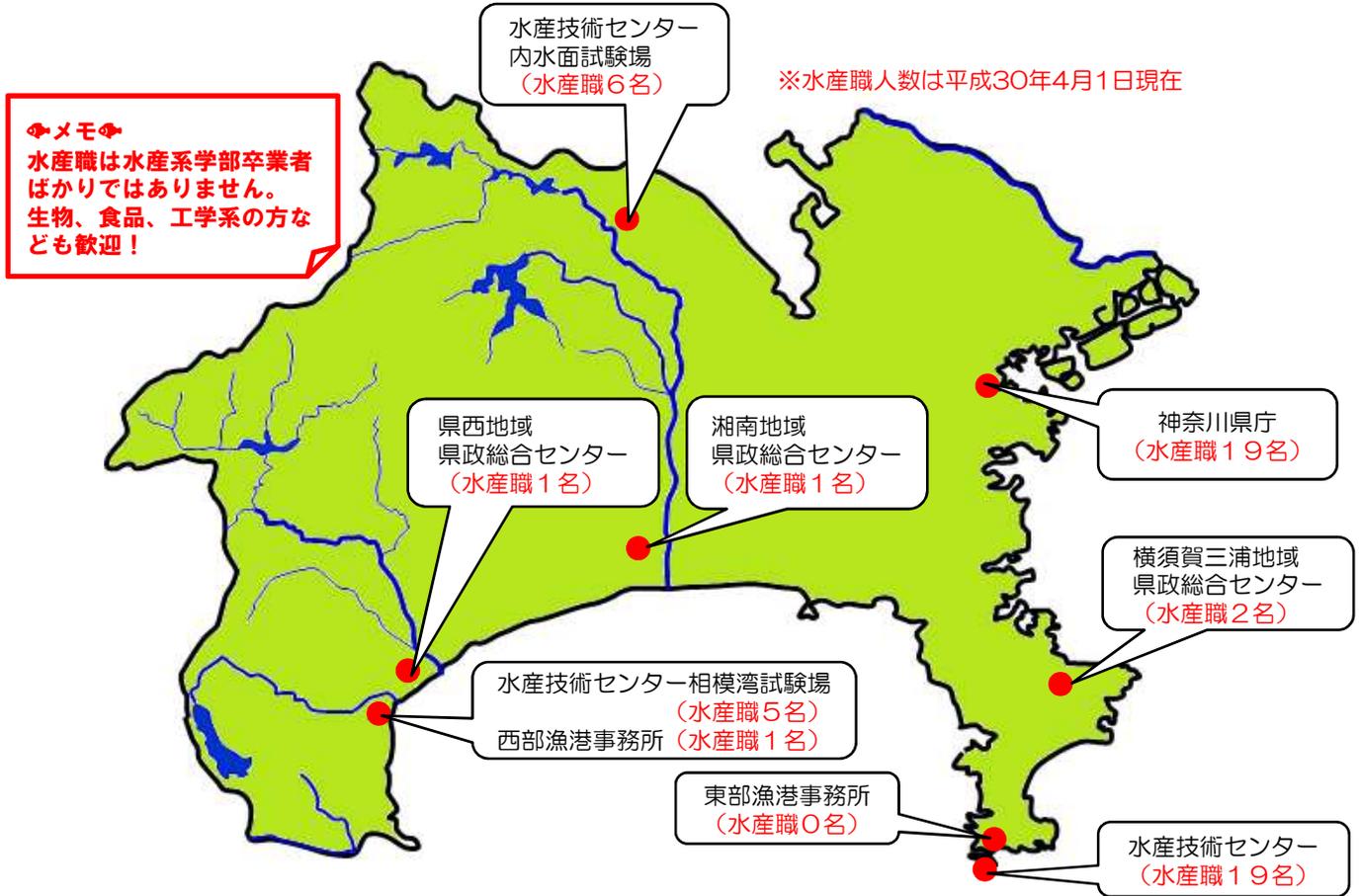


神奈川県庁 水産職の紹介



◆メモ◆
水産職は水産系学部卒業者ばかりではありません。生物、食品、工学系の方なども歓迎！

◆メモ◆
水産職で採用されると、県庁水産課（主に事務）や水産技術センター（主に研究）に配属され、概ね3～4年ごとに転勤します。本県はそれほど広くないため、引っ越しを伴わない場合がほとんどです。

【主な配属先】

<本庁> (横浜市)
環境農政局農政部水産課

<出先>

- 水産技術センター (三浦市)
- 水産技術センター内水面試験場 (相模原市)
- 水産技術センター相模湾試験場 (小田原市)
- 東部漁港事務所 (三浦市)
- 西部漁港事務所 (小田原市)
- 横須賀三浦地域県政総合センター農政部 (横須賀合同庁舎内)
- 湘南地域県政総合センター農政部 (平塚合同庁舎内)
- 県西地域県政総合センター農政部 (小田原合同庁舎内)



環境農政局水産課（神奈川県庁）

主な仕事

- 水産業基本対策に関する計画策定と進行管理
- 水産業協同組合の指導
- 水産物の流通加工および消費対策
- 県営漁港（三崎、小田原）の整備および維持管理
- 市町営漁港の整備支援
- 漁業の調整および取締り
- 水産資源の管理および栽培漁業の推進
- 漁船および遊漁船の登録

◆メモ◆

横浜三塔の一つである県庁本庁舎（昭和3年竣工）。他に2棟。さらに新しい庁舎も建設中です。赤レンガ、山下公園、横浜大さん橋、マリンタワー、横浜中華街、横浜スタジアムなどが徒歩圏内。繁華街も近くアフター5も充実！



“キャベツウニ”の試食会

平成27年度入庁
水産企画グループ
武内啓明 技師



先輩職員からのメッセージ

水産職には行政事務もある！

私の担当は、漁業を活性化するための計画（浜の活力再生プラン）づくりや国の交付金の申請手続き、県産魚介類の販売促進、水産技術センターとの連絡調整など多岐にわたります。私はこれまで研究一筋であったため、行政の仕事に悪戦苦闘していますが、県の施策を理解することは、研究を行う上でも大切なことで、日々勉強になります。

神奈川県の水産業に関心のある方、水産職として一緒に働いてみませんか？



大さん橋からの眺め



県庁本庁舎 キングの塔

平成27年度入庁
漁業調整・資源管理グループ
古川 大 技師



先輩職員からのメッセージ

漁港を歩こう！

私は神奈川県庁で資源管理計画の策定指導および履行確認のほか、漁船登録事務を担当しています。県庁での仕事と聞くとデスクワークだけかと思われるかもしれませんが、もちろん書類仕事はありますが、現地調査や現地確認も行うため、漁協や漁港に出張しての仕事も同じくらいあります。出張先で仕事が終わった後は、漁港を歩いて直売所で水産物を探すのがひそかな楽しみです。

あなたが活躍できる場は、県庁から現場まで幅広くあります。様々な舞台から一緒に神奈川県の水産振興に携わりませんか？



三崎漁港全景

水産技術センター

主な仕事

- ・試験研究の企画調整
- ・水産加工技術等の開発
- ・水産業普及指導業務（横浜市から鎌倉市）
- ・水産資源及び水域生態系の調査研究
- ・海洋環境に関する調査研究
- ・栽培漁業に関する技術開発研究、増養殖・防疫の研究開発

◆メモ◆

三浦半島の先端、北原白秋の歌でも有名な城ヶ島に所在。島ですが橋で本土とつながっており、島外から通勤する職員がほとんどです。自然に恵まれた環境で研究に打ち込むには最適！



ベイブリッジを越えて、いざ次の観測点へ

平成29年度入庁
企画資源部
海洋資源担当
草野朱音 技師



先輩職員からのメッセージ

ひよっこ水産職が思うこと

私は、入庁当初から主に東京湾の貧酸素水塊に関する調査研究を担当していて、夏を中心に船を使った観測やごく沿岸域での連続観測を行っています。暑さと船の揺れに耐えながらの調査は大変な時もありますが、陸からは見られない横浜港や観音崎のちょっぴり特別な景色に元気づけられています。そして、目の前の仕事に追われるとつい見失いがちなのですが、私たちのやっている仕事の向こう側には常に漁業者さんをはじめとする神奈川県民の皆さんがいます。「県民の皆さんが今どんなことを求めているのか」ということに、ピンとアンテナを張って行動できる職員になるため、これからも精進したいと思います。



船上で流向流速計のデータ処理中...



緑色LED光照射による
マコガレイ稚魚成長促進試験

平成30年度入庁
栽培推進部
種苗生産技術開発担当
鈴木将平 技師



先輩職員からのメッセージ

魚の飼育から放流まで！

私が担当する主な業務は、トラフグ、カサゴなどの種苗生産技術開発です。端的に言えば、魚の赤ちゃん時代を如何に効率よく健全に育てるかの研究を行っており、育てた稚魚は県内の沿岸域に放流します。魚の生産から放流までを経験できる素敵な職場であり、稚魚を放流するその瞬間は非常に感慨深いものがあります。生き物が好きで、その知識を活かした仕事に興味がある方は、ぜひ水産職に挑戦してください！



アマモ場へのトラフグの放流

水産技術センター内水面試験場

主な仕事

- ・アユやワカサギなど良質な魚を増やす研究
- ・病気から魚を守る研究
- ・渓流域の魚の研究
- ・希少魚を保護する研究
- ・外来魚の対策

◆メモ◆

広い敷地で自然環境抜群！試験場内にも絶滅危惧種のピオトープがあり、生き物や自然を身近に感じることができます！近くには相模川が流れ、キャンプ場や公園があり、桜の名所にもなっています。



丹沢の溪流での調査風景

平成29年度入庁
遠藤健斗 技師



先輩職員からのメッセージ

神奈川の湖沼河川の漁業と環境を考える

内水面試験場ではアユやワカサギの増養殖などの内水面漁業をサポートする業務と、絶滅危惧種の保護や、外来種の対策等、県内の内水面環境を守る業務の2つが柱となっています。私は、県内の水源地帯である丹沢において、森林整備の指標を開発するための溪流調査を担当しています。水産増養殖に興味のある方、環境保全に興味のある方、一緒に神奈川の内水面を支える仕事に就いてみませんか？



アユの採卵作業

水産技術センター相模湾試験場

主な仕事

- ・定置網等漁具漁法改良に関する調査研究
- ・先端技術の高度利用に関する調査研究
- ・定置資源調査・漁場環境調査等
- ・水産業普及指導業務（藤沢市から湯河原町）

◆メモ◆

東海道本線早川駅から徒歩7分で 全国の水産研究機関でも交通の便が一番！
県内有数の小田原漁港も徒歩圏内！
回流水槽やROV、ドローン活用など、水産工学が強み。



回流水槽での模型実験

平成25年度入庁
普及指導担当
田村怜子 技師



先輩職員からのメッセージ

漁業者と一緒に課題解決に取り組んでいます

神奈川県は東京湾と相模湾に囲まれ、様々な漁業が営まれています。相模湾試験場では、漁業者が抱える漁具の課題について回流水槽を用いた模型実験を行い、改良に役立てる取組みをしています。また、調査船やドローン、ROV等を用いた漁場環境調査でわかったことを漁業者にフィードバックし、情報提供や意見交換に取り組んでいます。

浜に行って漁業者から話を聞くと、思いもしなかった情報や見えなかった課題に気付くことができます。現場の交流から神奈川の水産を元気にしていきたい方、ぜひ一緒に働きましょう！



現場での調査に関する指導